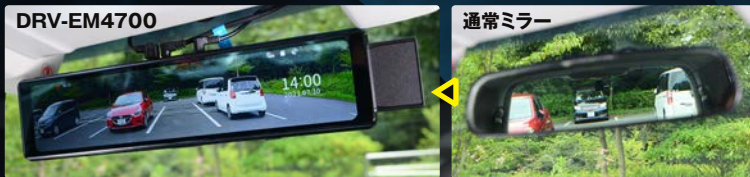


Windows/Mac対応 専用ビューアソフト



記録映像の再生はPC上でも行える。専用ビューアソフトを使うと地図や走行データも確認できる

視界が広がる



純正ミラーと比較するとドライバーから見える視野にはこれほどの違いがある。遠近感は異なるけれど左右ドアミラーの範囲までカバーできるイメージ。上下方向の表示範囲も調整できる

STARVIS搭載

前後カメラとも高感度性能に定評があるソニー製CMOSセンサー「STARVIS」を採用。夜間やトンネル内でも明るく鮮明な映像を提供する

右ハンドル 車に最適



フロントカメラは運転席側にカメラを装備することで広いエリアを捉えられる。大型純正ミラーとの干渉を防げるスライド機構付き

圧倒的な後方視界を得られる!

デジタルルームミラー 搭載の KENWOOD 最新ドライブレコーダー

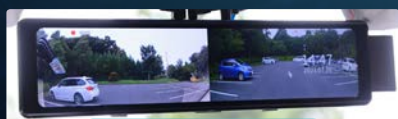
音声コマンド機能搭載



「フロントカメラ」



「バックカメラ」



「すべてのカメラ」

ハンドルから手を離さず、声で安全に操作できる「音声コマンド機能」を搭載。3種類の表示カメラ切り替え動作のほか、イベント録画の開始や写真撮影も音声だけ行える

操作もスムーズ



静電式タッチパネルで各種設定が可能。ドラッグで音量や明るさ、表示エリア調整が可能だ

文/浜先秀彰 撮影/澤田和久



ケンウッド デジタルルームミラー型 ドライブレコーダー DRV-EM4700

実勢価格：6万1000円前後

SPEC. ●記録解像度：1920×1080(動画最大約207万画素) ●フレームレート：28fps ●画像補正：WDR ●メインユニットサイズ：W293mm×H73mm×45mm

頃、ドライブレコーダーを積極的にリリースしているケンウッドから、ガジェット好き垂涎の新作が登場。デジタルルームミラーと前後2カメラドライブレコーダーを一体化した、その名も「ミラレコ」だ。見た目は市販ワイドミラーのようだが、エンジン始動と同時に電源が入ると鏡の部分が12型の大画面へと切り替わり、接続したバックカメラの映像を表示する。純正ミラーと違い、後席に人が座っていてもラゲッジに荷物が満載でも後方視界を遮られる心配がないのだ。しかも映し出すエリアがきわめて広く、夜間は肉眼よりもずっと明るく見える。良好な視界によってドライバーの疲れやストレスは大幅に軽減し、安全性の向上も大いに期待できるだろう。

ドライブレコーダーとしても優秀だ。前後カメラともフルHD画質(解像度1920×1080)で映像を記録。夜間に強いSTARVISや明暗差を自動補正するWDR機能を搭載。右側カメラ仕様で国産車に使いやすい、広い視界を確保する。

また、取り付け性に優れているのも特徴。純正ミラーに付属バンドで固定し、シガーソケットから電源を取得するだけで使用できる。大型純正ミラーと干渉しないカメラ部にスライド機構を備えている点も自迷せない。